



米にマユ菌を混ぜ合わせる部員

J A はだの

発行
秦野市
農業協同組合
 (神奈川県)
 〒257-0015
 秦野市平沢477
 電話 0463(81)7711(代)
 発行責任者 小島 敏雄
 印刷所 (株)JA情報サービス

今月の特集
 4~5面

有害鳥獣対策で農作物を守る
 市内で、鹿やイノシシによる農作物被害が深刻化している。さまざまな方面から、地域一帯で被害軽減と営農環境の保全に取り組んでいる。

特別金利
 1.20%

J A はだのは3月2日(月)から、定期貯金キャンペーンを実施します。新たな資金で50万円以上500万円以内

定期貯金キャンペーンが始まる

の自動継続定期貯金(単利型)を期間1年で契約した個人限定で、特別金利1.20%を適用します。(関連記事6面)

地産地消のみそ造り

女性部は1月19日から30日にかけて、本所でみそを造った。大豆の栽培から加工までの一連の流れを体験する「自給率向上!大豆プロジェクト」の最終工程。昨年12月に収穫した「津久井在来」を使ってみそ造りに挑戦した。

プロジェクトメンバーの部員53人が、4班に分かれて作業。みそ造りで重要な米こうじから手作りし、発酵させる際の温度調整などを丁寧に進めた。その後、柔らかく煮た大豆と塩、米こうじをむらなく混ぜ合わせ、機械でペースト状にして容器に詰めた。(関連記事6面)



「アジアとの共生」推進

6年ぶり 韓国農協で研修

J A はだのは、1月21日から23日まで国外視察研修会を6年ぶりに開いた。組合員教育事業の一環で、J A が基本理念に掲げる「アジアとの共生」を推し進めるとともに、国際的視野に立った組合員を養成することが狙い。組合員講座修了者7人とJ A 役員3人の視察団を韓国に派遣した。初日は、韓国農協中央会を表敬訪問し、未来革新室のチョン・インホ常務らから歓迎を受けた。1999年に姉妹提携した知道農協では、J A 書道・図画コンクールの入賞作品を手渡した他、農業機械を扱う店舗や農産物の製造ラインを見学した。2008年に友好農協提携を結んだ韓国農協中央会、坡州市支部も訪問し、近況を報告し合った。

団長を務めた小島敏雄専務は「韓国農協中央会や知道農協、韓国農協中央会、坡州市支部の訪問などを通じて、J A はだのが進めるアジアとの共生がより強固なものになった」と感想を話した。



視察団が韓国農協中央会を訪れた

華やかに競う

関東東海花の展覧会

秦野の花4点が受賞



出品した花の品質を確かめる部員

が会場に花を持ち込み、丁寧に飾り付けた。露地部・カーネーション部・バラ部・鉢物部から、7部門に合計14点を出品。部員は花を搬入し、展覧会の審査規格に合わせて調整しながら飾った。

花き部会は、東京都豊島区の池袋・サンシャインシティで開かれた「第74回関東東海花の展覧会」に、部員が丹精して育てた花を出品した。1月28日に、部員11人

●一般鉢物部門▽銀賞
 ●サンシャインシティ代表取締役社長賞▽有はら園芸(善提)▽銅賞▽相原一之(名古屋)
 ●一般切花部門▽銅賞
 ●小島康浩(上大槻)
 ●花苗部門▽銅賞▽草山邦彦(本町)

文中の表彰などの人名紹介の際の敬称は省略させていただきます。

「にじのきらめき」作ろう

新たな水稲品種 暑さに強く多収性 奨励品

導入へ向け 品種特性や食味確認 栽培講習会

J A はだのは5日、本所で水稲「にじのきらめき」の導入に向けた栽培講習会を開いた。県が2025年11月に新たに奨励品種に選定したことを受け、栽培を検討している生産者を対象に開催。栽培管理や品種の特徴などを伝えた他、食味の確認のため試食を提供した。



「にじのきらめき」の特性を紹介した講習会

「にじのきらめき」は、高温が続くと発生が増える白米熟粒が少なく、これまででの奨励品種「はるみ」よりも多収性に優れるなど、暑さに強い品種だ。

講習会は、県農業技術センターの職員が講師となり、参加者59人に25年度の作柄概況や病害虫防除について説明した。その後「にじのきらめき」の品種特性を紹介。穂が葉に隠れるため高温の影響を軽減することや、稈長(かんちよう)が短く



実の状態を確認する三川部長

倒伏に強いことを伝えたい。J A は、生産者に「にじのきらめき」の食味を知ってもらおうと、参加者1人につき精米約450gを用意。さらに試食用におにぎりを1個ずつ配布した。

参加者は「近年の異常な高温に悩まされているので、新たな品種に期待している。試食したところ食味が良かったので栽培したい」と話した。

評会と県茶園共進会の褒賞授与式が行われた。受賞者は次の通り。

◎令和7年度神奈川県茶品評会
▽優等・農林水産大臣賞▽山口勇(菩提)▽1等・関東農政局長賞▽山口栄子(菩提)▽2等・秦野市農業協同組合代表理事組合長賞▽高梨晃(菩提)▽3等▽高梨めぐみ(菩提)▽山岸幸子(寺山)▽山岸勉(寺山)▽古谷文明(菩提)▽高梨知子(菩提)▽柏木総士朗(横野)

古谷孝行(菩提) ◎第58回神奈川県茶園共進会
▽優等・農林水産大臣賞▽山口勇(菩提)▽1等・関東農政局長賞▽古谷孝行(菩提)▽2等・神奈川県農業協同組合中央会会長賞▽柏木元樹(横野)

◎カーネーション部門▽銀賞▽今井勲(羽根) ◎バラ部門▽銀賞1席・小田原園芸社長賞▽石井秀人(下大槻) ◎一般切花部門▽銀賞1席・神奈川県生花小売商協同組合理事長賞▽小島実(上大槻) ◎苗物部門▽銀賞▽草山邦彦(本町) ◎シクラメン部門▽金賞1席・神奈川県議会議長賞、銅賞▽有はら園芸(菩提)

キウイ丁寧にチエック 出荷時期ずらし有利販売

果樹部会キウイフルーツ部は、1月中旬からキウイフルーツ「ハイワード」の市場出荷を始めた。

今シーズンは23・6ト集荷し、甘さが十分に乘って品質は上々。選果して青森県と横浜市の市場などに3月まで出荷する。

油高騰対策はありがた。多くの市民に秦野の花の魅力を知ってもらいたい」と話した。

部は、昨年11月に集荷した「ハイワード」を冷蔵貯蔵庫で保存し、出荷時期を調整。輸入品との競合を避けた販売方法を確立している。

営農技術 ヒント・ポイント

かながわ鳥獣被害対策支援センター 0463-22-9521 (廣瀬)

農業技術センター 普及指導部 0463-58-0333

- 果樹花き課 果樹(大井・曾根田・清田) 花き(青木)
- 野菜課 (杉山)
- 作物加工課 作物(城戸加工(小川))

種皮が赤みがかって光沢があるものを選びましょう。

播種(はしゅ)は、10月前までに行ってください。未熟堆肥の有機物肥料はコガネムシ類の幼虫被害を増加させるので、完全した堆肥を施用してください。

早播きで4月下旬ごろ、普通期で5月中旬ごろに播種します。播種の深さは、3〜4センチ(ほじょう)を選びましょう。初期生育には窒素成分が必要となりますので、マルチ栽培のベッドでは「改良半立」「千葉P1-14号(Qなつこ)」で幅75センチ、株間24センチ、株間18センチを基準とします。

病害 白絹病の発生圃場が増加しています。連作を避けるために圃場を変えるか、適切な薬剤を散布しましょう。

県内で落花生の「青枯病」が確認されました。トマトなどのナス科植物によく名前を聞く病気で、土壌伝染性の病原細菌で、管理作業に使った器具や長靴に付いた土などからも病気が広がります。

病気が発生していない圃場から作業し、病気の発生がある圃場は最後にしましょう。病気が発生している可能性のある圃場に入ったり、植物体に触れたりした場合は、必ず器具・靴などを消毒しましょう。消毒用エタノールや次亜塩素酸カルシウムなどが有効です。晴天の日中におられるなど、疑わしい症状がありましたら、J A または県農業技術センターへお問い合わせください。(城戸)



高橋市長に花束を贈呈

生産した花を市長に贈呈 後継者確保へ意見交換

花き部会カーネーション部とバラ部は9日、秦野市役所を訪れ、高橋市長と部長が生産した花を贈呈した。部員4人が、カーネーションとバラの花束4束を手渡し、栽培管理や後継者確保などについて意見を交わした。

に、現在課題となっている後継者の確保について意見を交換。栽培が継続できなくなった際に、就農を希望する人にハウスを継承できるような制度の必要性について話し合った。

高橋市長は「花卉(かき)は市を代表する特産品で、市民の心を豊かにしてくれる。技術を継承し、生産を持続できるようにこれからも引き続き支援して」と激励した。

部員は、燃油高騰が経営に大きく影響していることや、夏の異常な暑さで高温障害が発生していることを報告した。さら

特別価格で販売する除草剤

J A グリーンは農家を応援します 除草剤割引キャンペーン



J A グリーンはだのは3月7日(土)〜15日(日)、除草剤の割引キャンペーンを実施します。期間中は「ラウンドアップ」や「プリグロックス」などの人気商品を特別価格で販売しますので、お得なこの機会にぜひご利用ください。お問い合わせはJ A グリーンはだのまで。 ☎81-7719

三川正己部長は「今シーズンは小玉傾向だったが、品質良く甘いキウイフルーツに仕上がっている。部員が丹精して育てた安全・安心な秦野産をぜひ食べてもらいたい」と笑顔だ。

普通作

落花生の播種と病害について

▼種子の準備
2〜3月ごろに蒔(さ)をむいて種子を用意しましょう。種子用に適した落花生は、莢の網目が明確で完熟した2粒蒔で、白く若干黄色を帯び、適度な「くびれ」があるものです。蒔をむいたら、播種時に薬剤を播種土壌

▼栽培土壌
落花生は干ばつに強いですが、湿害を受けやすいので、排水が良い圃場(ほじょう)を選びましょう。初期生育には窒素成分が必要となりますので、マルチ栽培のベッドでは「改良半立」「千葉P1-14号(Qなつこ)」で幅75センチ、株間24センチ、株間18センチを基準とします。

▼病害
白絹病の発生圃場が増加しています。連作を避けるために圃場を変えるか、適切な薬剤を散布しましょう。

県農業技術センターへお問い合わせください。(城戸)

デイに塗り絵やパズル

女性部は16日、JA神奈川県厚生連「JAデイサービスセンターはだの」にジグソーパズルや塗り絵などを贈った。昨年11月に開いたバザーの収益の一部を活用したもので、地域福祉活動の一環。石井理代部長と吉田美津江、片倉真弓副部長がセンターを訪れ、利用者に手渡した。

バザー収益から寄贈

女性部はバザーの収益を環境づくりに貢献し、これまでもセンターに車いすや歩行器など120ピースのジグソーパズル5個の他、塗り絵ターの要望を聞きながら6冊と12色入りの色鉛筆ら、利用者が快適に過ご10セットを用意した。

快適な環境を

人にジグソーパズルなどを手渡した。甲斐所長は「パズルや塗り絵が好きな利用者の方が多く、今回リクエストさせてもらった。脳のトレーニングとしても役立つと思うので、早速活用していきたい」と感謝を述べた。

石井部長らは、部の活動や贈呈の経緯を説明しながら、利用者との交流。センターの甲斐さとみ所長から感謝状を受け取り、継続的にサポートしていくことを確認した。その後、利用者の代表3



利用者に塗り絵などを贈呈

食品約200点届ける

女性部フードドライブ継続

女性部は1月29日、市保健福祉センターを訪れ、市社会福祉協議会が取り組むフードドライブ(食品の寄付)に食品を提供した。同会に協力するのは6回目。石井理代



高橋会長(左)に食品を渡した

石井部長らは、子ども食堂で主食や調味料を必要としていることを部員に伝え、今回は米や麺類、油などが多く集まったことを報告した。

高橋会長は、物価高騰により支援を必要とする人が増えているため、今後もフードドライブに力を入れていくことを説明。継続的に協力している部に対して「利用者の感謝の声を共有していきたい」と話した。

災害に備え防災講習

女性部と女性理事



ポリ袋を使った調理方法を確認

女性部の本部役員とJAの女性理事は3日、本所で防災講習会を開いた。災害への意識を高め、日頃からの備えの重要性を学ぶことが目的。「家の光」の記事を参考に、防災食と「防災ポトル」作りに挑戦した。

参加者24人は、JA職員から最近の災害事例や

支部だより

西支部 室 西支部は4日、本所でふるさと料理教室を開いた。昨年10月の手打ちそばに続き、太巻きずしをテーマに追加開催。部員3人が、保護者12人に指導。具材を巻くことや、厚焼き卵の焼き方を伝えながら調理をサポートした。正月など知る機会のないレシピを、仲間とわいわい作れるのもうれしいとのこと。



部員3人が、保護者12人に指導。具材を巻くことや、厚焼き卵の焼き方を伝えながら調理をサポートした。正月など知る機会のないレシピを、仲間とわいわい作れるのもうれしいとのこと。

いきいき女性部活動

本町支部 中里生活班

班長 小島 妙恵子

中里生活班は、以前は母たちの時代から受け継いで活動を活発にしている。多くの班員と旅行や共同購入をしていました。新たに、共同購入を目的として2人で活動を始め、今は3人で活動しています。共同購入は、安全で安心なJAの食材を購入でき、自宅に配送してもらえるので助かっています。パルシステムに変更するに当たり、話を聞きに行き「フレンドパル」に移行しました。毎週配達日には楽しく世間話をしたり、支部活動や支部旅行の打ち合わせをしたりしています。



最近はいろいろな支部活動が再開され、皆さんの交流も増えて、活動範囲も広がってきました。今後も仲良く楽しく続けていきたいと思っています。

3月の女性部行事予定表

3日(火)	10:00~女性部総会打ち合わせ
//	13:30~本部役員会
5日(木)	13:30~スポーツ運営委員会
13日(金)	9:50~大根支部「イチゴ狩り」
16日(月)	13:00~第58回女性部総会およびJAはだの家の光活動体験発表会
18日(水)	9:30~支部会(大根・西)
//	13:30~支部会(東・南・北)
19日(木)	13:30~支部会

本町支部

本町支部は12日、戸川の「村上いちご園」でイチゴ狩りを実施した。部員12人が、旬のイチゴを味わった。部員は、同園の村上千晶さんから摘み取り方法の説明を受けた後、イチゴ狩りを開始。「みくのか」や「堅しろ」など約10品種の中から、イチゴの大きさを好み摘み取って味わった他、バック



イチゴ狩りを満喫

大根・南・西・上支部

南支部は9日、西・上支部は16日、大根支部は17日に各支所でシイタケのほだ木を作った。原木シイタケが自家栽培できることから部員に好評で、毎年恒例となっている活動の一つ。4支部合わせて49人が189本のほだ木を完成させた。部員は、長さ約1尺の原木に電動ドリルを使って約30カ所の穴を開け、手分けして木づちでシイタケ菌の種駒を打ち込んだ。



シイタケ菌を打ち込む部員

完成したほだ木は各自持ち帰り、シイタケ菌が活着するように湿度や温度を管理していく。シイタケは1年から1年半ほどで収穫できる予定だ。



大原幽学の功績を学んだ研修会

講座修了生が千葉訪問

視察で大原幽学の功績学ぶ

J Aはだのは4日、国を視察した後、宮貫賢治 幽学の旧宅や人々に教え内視察研修会で千葉県を 館長から展示の内容や屋敷を説いた改心楼の跡地も訪れた。組合員教育事業 外の建物について説明を受けた。2025年度組合員講座の修了者が対象。旭市にある大原幽学記念館を視察し「性学」の教えを説いた大原幽学の功績を学んだ。参加者14人は、大原幽学への敬意を込めて、大原幽学の生涯をまとめた映像



小島専務から修了証書を受け取る修了者

地域のリーダー42人誕生

協同組合講座が閉講

J Aはだの取り組み協同組合講座が1月29日、閉講式を迎えた。29日、閉講式を迎えた。講師は、協同組合や地域農業について理解を深めてきた。今年度は組合員基礎講座、組合員講座、専修講座合わせて42人が修了し、新たに協同組合運動のリーダーが誕生した。閉講式で小島専務が「今後とも専修者同士のつながりを大事に、講座で学んだことを日頃の生活や地域で生かしてほしい」とあいさつした。修了証書を一人一人に、皆勤賞の内容を発表した他「多くの組合員に受講してほしい」と呼びかけた。

正しく煙火使用 対策強化へ講習会



煙火の発射を体験する澤口さん

はだの都市農業支援センター 伝えた。タ1は1月23日、養毛で煙 かながわ鳥獣被害対策火講習会を開いた。鳥獣被害センターの職員が、野生害への対策を強化すること、動物を追い払う餌の無償配布が目的。動物を追い払う煙し、追い払い方法を説明。火の安全な使用方法などを 熊や鹿、イノシシの痕跡の手に持って点火しないこと

有害鳥獣対策

市内では中山間地域を中心に、鹿やイノシシによる農作物被害が深刻化している。はだの都市農業支援センターは、講習会の開催や、おりに仕掛ける餌の無償配布など、さまざまな方面から対策を強化。地域の生産組合とともに、被害軽減と営農環境の保全に取り組んでいる。

地域一体で農作物を守る

はだの都市農業支援センターは、18日、本所でくくりわなの安全に研修会を開催した。研修会では、設置手順を指導した。湘南地域農政総合センターの職員が、わなの管理方法を説明した。参加者は、わなの設置方法や、実際に操作する向きなど、実際に操作方法を学んだ。



餌用のサツマイモを受け取る高橋さん

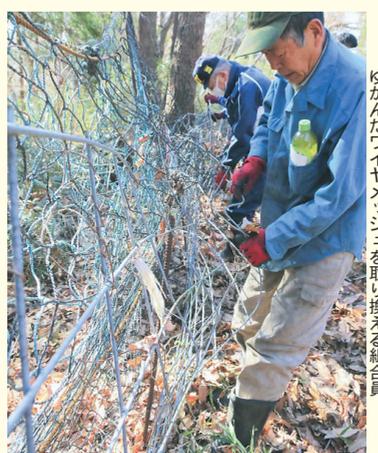
はだの都市農業支援センターは、18日、本所でくくりわなの安全に研修会を開催した。研修会では、設置手順を指導した。湘南地域農政総合センターの職員が、わなの管理方法を説明した。参加者は、わなの設置方法や、実際に操作する向きなど、実際に操作方法を学んだ。



修了認定証を手渡した

破損ネット補修 生産組合が連携して管理

名古木の小金沢・西沢 力を合わせている。動物侵入防止用のネットとワイヤをめぐり、生産組合が、野生動物の侵入を防ぐこと、に管理。破損した箇所は組



ゆがんだワイヤメッシュを取り換える組合員

はだの都市農業支援センターは、18日、本所でくくりわなの安全に研修会を開催した。研修会では、設置手順を指導した。湘南地域農政総合センターの職員が、わなの管理方法を説明した。参加者は、わなの設置方法や、実際に操作する向きなど、実際に操作方法を学んだ。

はだの都市農業支援センターは、18日、本所でくくりわなの安全に研修会を開催した。研修会では、設置手順を指導した。湘南地域農政総合センターの職員が、わなの管理方法を説明した。参加者は、わなの設置方法や、実際に操作する向きなど、実際に操作方法を学んだ。

発見 笑顔あふれる店に

No.511



南矢名で美容室「サロンド グレイス」を営む三浦君代さん。美容専門学校を卒業後、市内の美容室で技術を磨き、1000年

笑顔あふれる店に 笑顔あふれる店に 笑顔あふれる店に 笑顔あふれる店に 笑顔あふれる店に

暑さ対策や事例学ぶ 農業塾連絡協が研修会 研修会では、設置手順を指導した。湘南地域農政総合センターの職員が、わなの管理方法を説明した。参加者は、わなの設置方法や、実際に操作する向きなど、実際に操作方法を学んだ。

食と農に挑戦 食と農に挑戦 食と農に挑戦 食と農に挑戦 食と農に挑戦

成年後見制度学ぶ 成年後見制度学ぶ 成年後見制度学ぶ 成年後見制度学ぶ 成年後見制度学ぶ

はだの市民農業塾 閉講式 閉講式では、設置手順を指導した。湘南地域農政総合センターの職員が、わなの管理方法を説明した。参加者は、わなの設置方法や、実際に操作する向きなど、実際に操作方法を学んだ。

告知板

2月28日の営業
棚卸しで変更
2月28日(土)は決算
に伴う棚卸しのため、営
業時間を次の通り変更し
ます。ご理解とご協力を
お願いします。
◎じばさんず 午前9
時～午後3時
◎Sun's Gelat
o(サンズジェラート) 11
時～午後3時

加工相談会に
ぜひご参加を
J A はだのは、加工相
談会を開いています。農
産加工に興味がある方、
これから農産加工を始め
たい方、加工所の新設を
考えている方など、どな
たでも参加できます。
2026年度の開催内
容は表の通りです。県農
業技術センター職員の講
義と個別相談会の他、セ
ンターとJ A の職員が訪
問する巡回相談会も実施
しています。

■加工相談会・講義 場所:本所農業団地センター2階 調理実習室他

日時	内容	その他
4月22日(水) 午前9時～同10時30分	HACCPと衛生管理について ～清潔な環境を保とう～	午後は個別の相談を 受け付けます
5月21日(木) 午後1時30分～同3時	HACCPと食品表示の注意点について ～正確な情報を伝えよう～	—
6月23日(火) 午前10時～正午	食品の取り扱いについて ～食中毒を予防しよう～	午後は個別の相談を 受け付けます
9月16日(水) 午前10時～正午	適正販売価格について ～利益と満足を両立しよう～ 保存期間を延ばすための技術【実践】 ～殺菌方法など実践を交えて再確認しよ う～	午後は個別の相談を 受け付けます
2027年 1月19日(火) 午前10時～正午	素材の生かし方について【実践】 ～実際に商品テストして品質評価(食味 試験)をしよう～	午後は個別の相談を 受け付けます

■巡回相談会 実施日

3月9日(月)	7月16日(木)
12月10日(木)	2027年2月16日(火)

じばさんずは、パート
・アルバイトスタッフを
募集しています。働きや
すい職場ですので、お気
軽にお電話ください。
◎業務内容 レジ・品
出しなど
◎時給 1230円
◎時間 午前8時～午
後6時 ※時間内シフ
ト制
◎待遇 社会保険完備
・交通費規定支給・車通
勤可など

じばさんず NEWS

【3月のイベント】

- ☆「おススメ!果物・野菜・加工品」1日(日)7日(土)8日(日)14日(土)15日(日)21日(土)22日(日)28日(土)29日(日)
旬の果物や野菜、お薦めの加工品などを店舗外の特設コーナーで販売します。
- ☆「ひな祭り」3日(火)
秦野産の花やお菓子で、桃の節句をお祝いしましょう。
- ☆「お彼岸フェア」14日(土)～17日(火)
切り花や出荷者手作りの加工品、和菓子・お供え菓子などを多数そろえます。
- ☆「豚肉加工商品の日」20日(金)
㈱フリーデンが国産豚を使用した商品を特別価格で販売します。
- ☆「たまごの日」毎週月、金曜日
店頭価格から10%引き。一部の生産者出荷品は除きます。
- ☆「米の日」毎週水曜日
指定の銘柄米が店頭価格から10%引き。
- ☆「肉の日」毎週木曜日と29日(日)
店頭価格から5%引き。
【Sun's Gelatoのイベント】
- ☆「ポイント2倍デー」3日(火)13日(金)23日(月)
サン(3)ズジェラートの日は、ジェラート1個ご購入でスタンプカードに二つ押印します。
- ☆「お得なパンセット」8日(日)18日(水)28日(土)
8の付く日はパンセットの日。クロワッサンなどのパン商品を5個300円で販売します。組み合わせはお好みで選べます。
- ☆「ジェラートの日」毎週火曜日
店頭価格から10%引き。
- ☆「ワンスプーンサービス」
雨の日は、ジェラート購入でお好きな味をスプーン1杯分お付けします。
◎3月10日(火)は定休日です。
※準備の都合上、イベントが変更になることがありますので、ご了承ください。

特別金利 1.20%

定期貯金キャンペーン

期間限定 ぜひ利用を

J A はだのは3月2日(月)から定期貯金キャンペーンを実施します。期間限定で特別金利を設定しますので、ぜひご利用ください。募集総額(21億円)に達し次第取り扱い終了となります。
【定期貯金キャンペーン】
◎期間 3月2日(月)から5月29日(金)まで
◎対象資金 個人が預け入れる当J A 以外からの新たな資金
◎預け入れ金額 50万円以上500万円以内
◎預け入れ期間 1年自動継続(単利型)※ATMからの預け入れは対象外
◎適用金利 1.20%
詳しくは各支所・支店、または信用課まで。☎81-7716

いつものみそ汁を薬膳に。毎日飲むものだからこそ、食材の持つ効能を理解すればぐっと体をいたわる一杯に。特別な材料を使わずに、季節や体調に合わせていつもの具材から選ぶだけで簡単に薬膳みそ汁が作れる。
定価1500円(税別)

大豆育て、みそ造り

女性部活動の参加者募集

女性部は、大豆プロジエクトの参加者を募集しています。大豆の種をまいて栽培し、みそ造りを一緒にやってみませんか。参加には女性部への加入が必要です。
◎活動回数 6月下旬以降で5～7回(日程は畑、J A はだの本所農業団地センター農産加工室)
◎活動時間 1回2時間程度を予定
◎活動場所 下大槻の支店または生活福祉課に提出。
◎申し込み方法 機関紙に折り込んでいる参加申込書に記入し、3月27日(金)までに各支所・支店または生活福祉課に提出。
◎お問い合わせは生活福祉課まで。☎72-7661

大人気シリーズの続編。今回は世界の料理をテーマに、その国の人ならみんなが知っている郷土料理を紹介します。
定価1500円(税別)

募集 JA正職員

- ◎応募資格 2027年3月に大学または短大を卒業予定の方、卒業後3年以内の方
- ◎募集人員 若干名
- ◎職種 JA業務全般に携われる方(総合職)
- ◎応募受付期間 2026年5月29日(金)午後5時まで
- ◎応募方法 マイナビ2027のウェブサイト上で「JAはだの」と検索し、確認してください。右記QRコードからもアクセスできます。
- ◎お問い合わせ先 〒257-0015 秦野市平沢477番地 秦野市農業協同組合 総務課 TEL.0463-81-7711(平日午前8時30分～午後5時)

急募 JA正職員

- ## 葬祭事業専門スタッフ
- ◎応募資格 高卒以上、40歳未満(長期継続勤務によるキャリア形成のため)で、かつ普通自動車免許を持っている方
 - ◎職種 葬儀全般に関する業務
 - ◎勤務地 J A セレモニーホールはだの(秦野市平沢231-4)
 - ◎応募受付期間 2026年3月27日(金) 午後5時まで
 - ◎応募方法 下記までお電話にてご連絡ください。
〒257-0015 秦野市平沢477番地 秦野市農業協同組合 総務課 TEL.0463-81-7711(平日午前8時30分～午後5時)



今月の新刊



文芸の窓

〈俳句〉(酒井 敏光 選)

無口な子進路一筋みかん食ぶ

柳川みち子(栄 町)

春の雪水無しでのむ痛み止め

佐藤英美子(南矢名)

度忘れに会話の止まる冬日和

森高 由子(渋 沢)

父と居て立春の海眩しけり

高島美和子(名古屋)

道祖神礎石の回り草萌ゆる

吉田 清美(渋 沢)

春光や櫻の緩ぶ乙女鍬

菊池としえ(菩提)

午年や朋友ばかり来る訃報

志賀 明子(千 村)

淡雪や気軽に帰る親の郷

青山 忠法(鶴 巻)

青シラス大根サラダ春の雪

石原 松枝(渋 沢)

夢殿に灯の入り雪の観世音

選者

〈短歌〉(久保寺 富男 選)

いつだってやさしい友のうでにある

リストカットは声なきひめい

大木かずひろ(名古屋)

評 いつもやさしい友人の手首の傷跡に一

体何があったのかと身上を案じている

作者。声なき悲鳴の語が重く迫る。

年賀とて子の送り来し敷き毛布

エアコン不要にわが部屋温し

細田 富士(千 村)

脳トシに漢字しりとりを競い合ふ

悩める人にヒント出し合ひ

八木 実(鶴巻北)

線路敷の傾りの梅の真盛り

そを巻上げてロマンスカーゆく

安居院輝雄(上大槻)

霜枯れて何の草の芽細々と

春を待ちつつ命つなぎぬ

石田こずゑ(水神町)

わたなかに突き出し岬の宿の朝

うしほは既に春の色持つ

※選者による添削あり

今月の理事会

2月24日に理事会を開催し、次のことを審議しました。

▽2026年度内部監査計画について

▽2026年度コンプライアンス・プログラムについて

▽内部統制システム基

本方針について

▽2026年度内部統制整備取組計画について

▽情報セキュリティ基本方針および情報セキュリティ基本規程の改正について

▽第63回通常総代会における表彰・感謝状の内

申基準について

▽上地区重油基地用地の不動産売買契約の締結について

▽上支所2階フロアの賃貸借契約の締結について

▽就業規則の改正について

▽2025年度決算方針について

▽早期警戒制度にかかわる成行シミュレーションについて

▽子会社管理規程の改正について

▽2026年度賦課金の徴収について

制の法定基準超過の現状と今後の方針について

▽農業施設用燃油・飼料の支援について

▽2026年度借入金最高限度額の設定について

▽2026年度余裕金運用方針について

▽株式会社協同コンサル

ルトはだの第38期(2026年度)営業計画書について

給付、休業補償給付など

◎保険料 年1回の掛け捨て制(給付基礎日額)によって年間保険料は異なります)

◎補償期間 4月1日

おめでとうございませす。末永くお元気で過ごしてください。

88歳(米寿)

▽大根地区 丸岡吉治(南矢名)

▽南地区 佐藤幸雄(平沢)

▽西地区 山口玉子(堀西)

77歳(喜寿)

▽本町地区 川口絹江(幸町) 遠藤照子(入船町)

▽北地区 飯沼節子(戸川)

※自己申告ですので、該当の方は申請書に記入

・押印の上、誕生月の前

農業 農災 もしもの「事故」に備えを

農業従事者の高齢化などにより、農作業中の傷害事故が増えています。25年度は11月末現在、市内で14件の農業労働災害事故が発生しています。

J Aはだの、農作業中の事故への備えのため「農業労働災害保険加入促進運動」を進めています。

◎運動期間 3月13日(金)まで

◎対象者と対象作業

▽特定作業従事者 自

営業者(兼業農家を含む)で、年間の農作業収入が300万円以上または経営耕地面積2畝以上の規模で、次の農作業に従事している方。

トラクターなどの農業機械を使用する作業、2. 荷作業後に行う販売作業

◎補償内容 療養補償

以上の高所での作業、農薬散布、牛・豚に接触する作業。

▽指定農業機械作業従事者 自営業者(兼業農家を含む)で、次の機械を使用し農作業を行う方。動力耕運機、その他の農業用トラクター、自走式田植機、自走式防除機、草刈り機など。

その他、農産物を市場などまで運ぶ出荷作業、出荷作業後に行う販売作業も対象です。

農業者の高齢化などにより、農作業中の傷害事故が増えています。25年度は11月末現在、市内で14件の農業労働災害事故が発生しています。

葉ニンニクの回鍋肉

上支部 熊澤 淳子さん



■材料4人分■
葉ニンニク2袋、豚バラブロック500g、ショウガ適量、塩小さじ2分の1、花さんしょうの実(パウダーでも可)小さじ1、トウバンジャン小さじ1、A(しょうゆ大さじ1、テンメンジャン大さじ1、トウバンジャン小さじ1、砂糖小さじ1、紹興酒小さじ2)

<作り方>
①ショウガは3、4枚の薄切りと、1片分をみじん切りにする。
②鍋に豚バラブロック、かぶるくらいの水、薄切りにしたショウガ、塩を入れて火にかける。沸騰したら、中火にして30分煮る。冷ました後、薄切りにする。
③葉ニンニクは5センチ程度の長さに切る。白い茎の部分は縦に半分に切る。
④②の豚肉をフライパンで色が付く程度に焼く。
⑤④にみじん切りのショウガと花さんしょうの実、トウバンジャン、葉ニンニクの茎を加えて炒める。
⑥Aを混ぜて⑤に加え、最後に葉ニンニクの葉を入れてさっと火を通す。
<ひとことアドバイス>
豚バラブロックを使うと、歯応えが最高です。葉ニンニクはさっと炒めることで、香りが引き立ちます。

農業者に記念品贈呈

おめでとうございませす。末永くお元気で過ごしてください。

88歳(米寿)

▽大根地区 丸岡吉治(南矢名)

▽南地区 佐藤幸雄(平沢)

▽西地区 山口玉子(堀西)

77歳(喜寿)

▽本町地区 川口絹江(幸町) 遠藤照子(入船町)

▽北地区 飯沼節子(戸川)

※自己申告ですので、該当の方は申請書に記入

・押印の上、誕生月の前

JA農機ハウスローン

農業のより育みます

- 応援1 軽トラックの購入にも!
- 応援2 農業機械の購入にも!
- 応援3 ハウスの建設にも!
- 応援4 農業用倉庫の設置にも!

JAグループ神奈川応援プログラム

利子補給事業

JAが取り扱う全ての農業資金(公庫資金を除く)について、最大1.0%(最長10年)の利子補給を行っています。

補給率 最長10年 最大 **1.0%**

保証料助成事業

JAが取り扱う全ての農業資金において、県農業信用基金協会の保証が付された場合の一括前払い保証料を全額助成するもの。一度お支払いいただいた後、全額助成いたします。

実質保証料 **0円**

詳しくは各支所・支店または融資課まで ☎0120-954-093

税金無料相談会

これから年金を受け取る皆さまの複雑な受給手続きの
お手伝いをさせていただきます。
社会保険労務士がご相談にお応えします。

税務相談日 3月10日(火) 午前9時30分～
法務相談日 3月19日(木) 午後1時30分～

場所 本町支所

ご予約は協同同コンサルトはだの ☎81-2329

年金無料相談会

これから年金を受け取る皆さまの複雑な受給手続きの
お手伝いをさせていただきます。
社会保険労務士がご相談にお応えします。

3月15日(日) 本所農業 団地センター

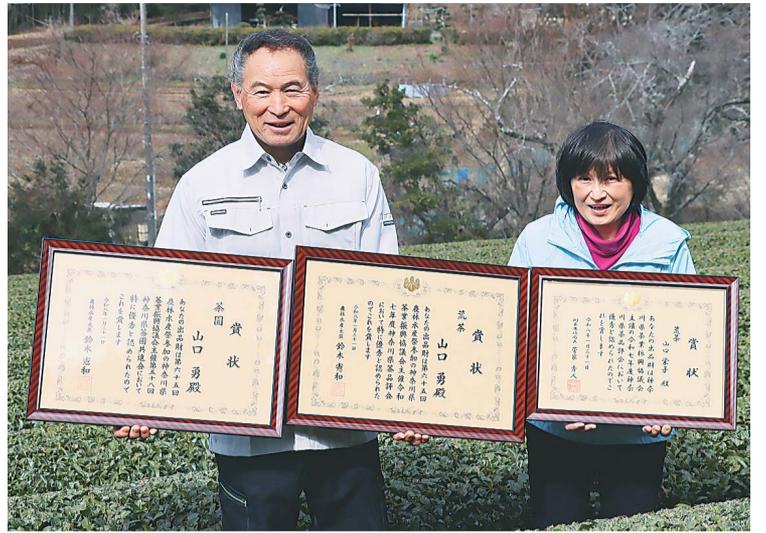
時間 午前9時～午後4時

できるだけ事前予約をお願いします

ご予約・お問い合わせは 信用課 TEL.81-7716

4度目の大臣賞2冠

「わさびや茶園」の山口勇さん



快挙を成し遂げた山口さん夫妻

足柄茶100周年記念式典が1月31日、山北町で開かれ、菩提で「わさびや茶園」を営む山口勇さんが県茶品評会と県茶園共進会の農林水産大臣賞を受賞し、4度目の大臣賞2冠となった。妻の栄子さんも品評会で1等の関東農政局長賞を受賞。夫婦二人三脚で園を管理し、約30年にわたり出品した全ての共進会で大臣賞の評価を受けている。

県茶品評会・茶園共進会

良質な茶へ 夫婦二人三脚

県茶品評会は、荒茶の外観や香りなどを審査するもので、勇さんが出品した「おくみどり」は滋味が秀逸で、優等にふさわしい最上品質と評価され、200点満点を獲得。栄子さんが出品した「やぶきた」も199点を獲得した。茶園共進会は、土壌や整枝などの管理状況を審査。審査対象の「つゆひかり」の畑は、葉層や分枝がしっかりと確保され、木の均整度が高いことが評価された。2・5畝の茶園で8品種を栽培する勇さんは「良い生葉を摘採するためには土づくりが重要」と話す。土壌にかやなど

をすき込み、保水性と排水性を兼ね備えた土づくりを進める。整枝作業は長年の経験を生かしながら丁寧に刈ること、整枝面を整える。加工時は、生葉の特性を見極めて蒸す時間を調整。もみ込みの回転数や風量、温度管理を徹底することで、香り豊かな茶を製造する。

勇さんは「人生の全てをかけて茶づくりができて、今後揺るぎない信念で土づくりを行い、品質の高い茶を作っていく」と笑顔で話した。

やえのちゃん ぴーなマンの インスタ この1枚

今月の1枚は、6日に掲載した小松菜の投稿よ。選び方や栄養素、保存方法などを紹介しているわ。



この時期は、じばさんずにとくさん並んでいるよね。投稿を見て、下ゆでがいらぬことを初めて知ったよ。みそ汁はもちろん、炒め物やおひたしにも使える万能野菜だね。



そうなの。ビタミンや鉄分などの栄養素も豊富で、特にカルシウムはほうレンソウの3倍以上含まれているのよ。



InstagramのJAはだの公式アカウントは、この他にも季節の農産物やレシピ、じばさんずの情報を発信しているよ。ぜひフォローやいいねをしてね。



どもたちに秦野の未来を耕してもらえよう行動する。

を年26種類出荷する。加工を始めたきっかけは、じばさんずがオープンする時期に、いろいろ直売所の視察に参加したこと。揚げたてのコロッケがある所が多く、当時家でジャガイモを栽培していたので、やってみたくて思ったと振り返る。総菜のアイデアを書きためたレシピ帳は10冊を超える。「この人の総菜はどれを食べる。約16坪の畑で、自家消費用の野菜と青パパイアを栽培。青パパイアが「かながわブランド」に認定された際は、食味審査用の料理を担当した。青パパイアの「ふるこの生活技術指導士にも認定され、認知度向上に一役買う。

女性部でふるさと料理講師として次世代に料理を伝承する他、趣味グループ「リメイク小梅の会」「SOBA」にも所属。裁縫や料理などの特技を生かして幅広く活躍する。

「今の生活がとても充実している。これからも長く続けていければ」と笑顔だ。

農業経営士に新メンバー

秦野市農業経営士会に、新たな会員が加わる。農業経営士は、農業の経営知識や高い技術を持ち、後継者育成や農業への理解促進に役割を果たすなど、地域農業の中枢を担う農業者が認定されるもの。菩提の小泉貴寛さん(48)と今泉の原聡さん(48)が、1月19日に県若治県知事から県農業経営士の認定を受けた。

地産地消が大切 食農教育にも力

小泉貴寛さん

小泉さんは、大学卒業後に県立かながわ農業アカデミーで花卉(かき)栽培の知識を身に付け、24歳で就農。鉢物や観葉植物を生産していた父に教わりながら、農業に励んできた。栽培品目が米や大豆などの普通作に徐々に切り替わっていき、



大豆の品質を確認する小泉さん

2012年に父が農業生産法人(株)大地を設立し、役員となった。約14畝で米や大豆、小麦、ソバを栽培している。収穫した作物はJAに出荷する他、乾麺やしょうゆなどの加工品をじばさんずで販売。「地産地消を大切に、目の前の消費者においしいものを届けたい」と話す。「法人は地域の農地を守ることが目的の一つにしているので、今後も生産を頑張っていく。経営士として地域の子どものための食農教育活動にも力を入れていく」と意欲的だ。



生育状況を確認する原さん

後継者を育成 関わる人増やす

原聡さん

原さんは高校を卒業後、県立かながわ農業アカデミーに入学。3年にわたり農業のノウハウを学び21歳で就農した。現在は主にトマトやキュウリ、サツマイモを栽培。施設栽培の強みを生かし、農産物の通年出荷に努める。

2018年には市立南小学校で同校やPTAと連携して「あぐりっこサークル」を立ち上げ、地域の親子に農業に触れる機会を提供してきた他、19年からは秦野市議会の議員としても活躍。地域の農業を振興するため、多方面から力を注いでいる。

原さんは「農業後継者の育成はもちろん、農に関わる人を増やしていきたい。特に次代を担う子

接近! おじゃまです

向原洋子さんは北海道出身で、小学生の時に平塚市に、その後秦野市に移住した。結婚後は、小蓑毛のイチゴ農家だった夫の実家で作業を手伝っていた。36年前に小蓑毛に移り、14年前に家を建て替える時に、元の家を加工所に改装。じばさんずメニューなどの総菜

を年間26種類出荷する所が多く、当時家でジャガイモを栽培していたので、やってみたくて思ったと振り返る。総菜のアイデアを書きためたレシピ帳は10冊を超える。「この人の総菜はどれを食べる。約16坪の畑で、自家消費用の野菜と青パパイアを栽培。青パパイアが「かながわブランド」に認定された際は、食味審査用の料理を担当した。青パパイアの「ふるこの生活技術指導士にも認定され、認知度向上に一役買う。

女性部でふるさと料理講師として次世代に料理を伝承する他、趣味グループ「リメイク小梅の会」「SOBA」にも所属。裁縫や料理などの特技を生かして幅広く活躍する。

「今の生活がとても充実している。これからも長く続けていければ」と笑顔だ。

総菜の出荷が元気の源



小蓑毛の
向原 洋子さん(74)

女性部でふるさと料理講師として次世代に料理を伝承する他、趣味グループ「リメイク小梅の会」「SOBA」にも所属。裁縫や料理などの特技を生かして幅広く活躍する。

「今の生活がとても充実している。これからも長く続けていければ」と笑顔だ。